

上州渋川

2011群馬大会(144MHz)での 私の判断と行動

2011年5月14日(土)
於 群馬県赤城・北橋町

安島 巧



2011-May-14 群馬県渋川市赤城町・北橋町
第11全国高等学校ARDF競技大会
北関東地区予選144MHz部門

主催 全国高等学校文化連盟
後援 群馬ARDFクラブ
現地調査・地図製作、群馬ARDFクラブ
緊急連絡先 080- - (篠原)
090- - (清水)

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K. Shino OCAD9.7.1 License No. 5883

OCAD

初めに

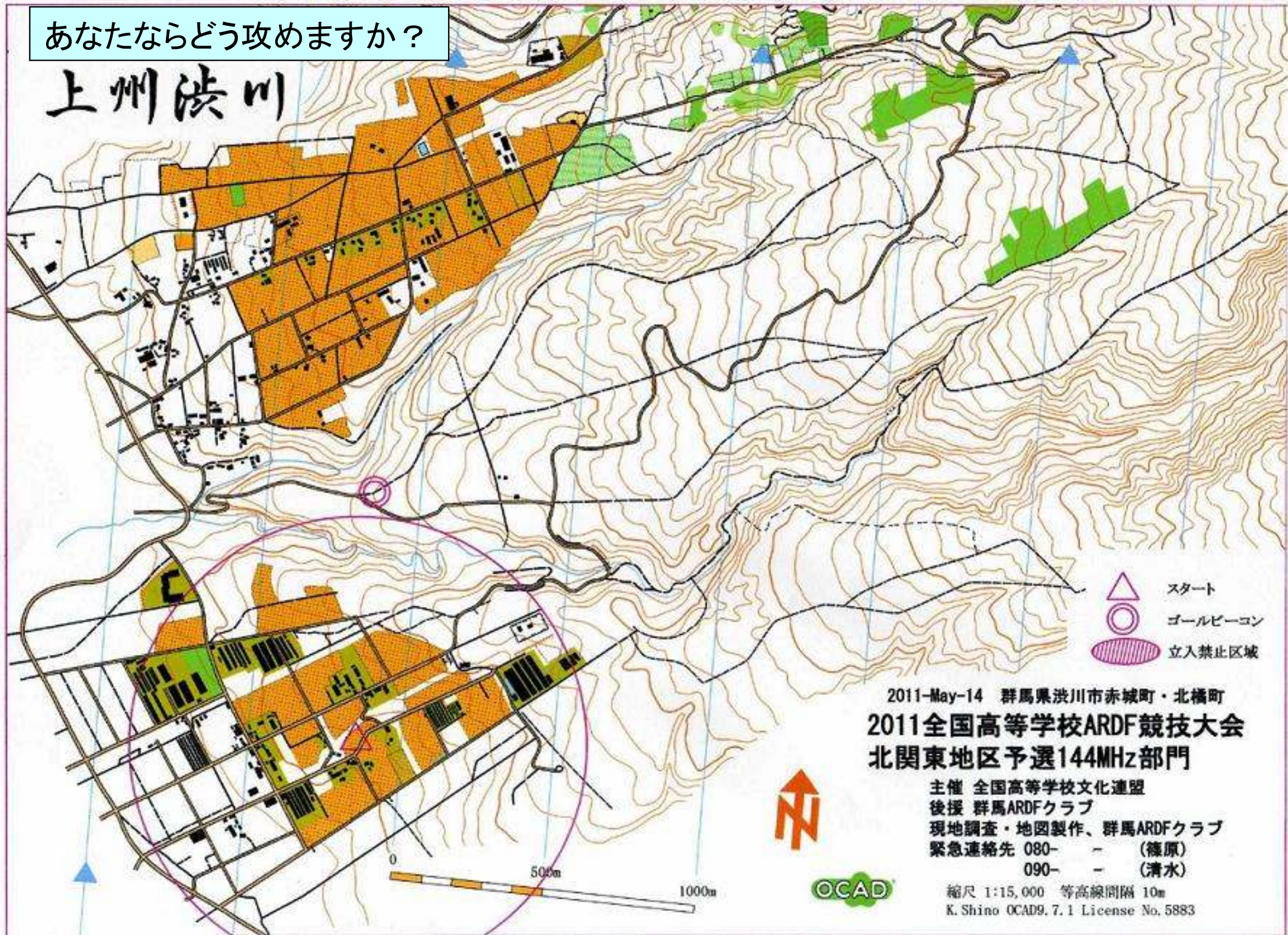
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

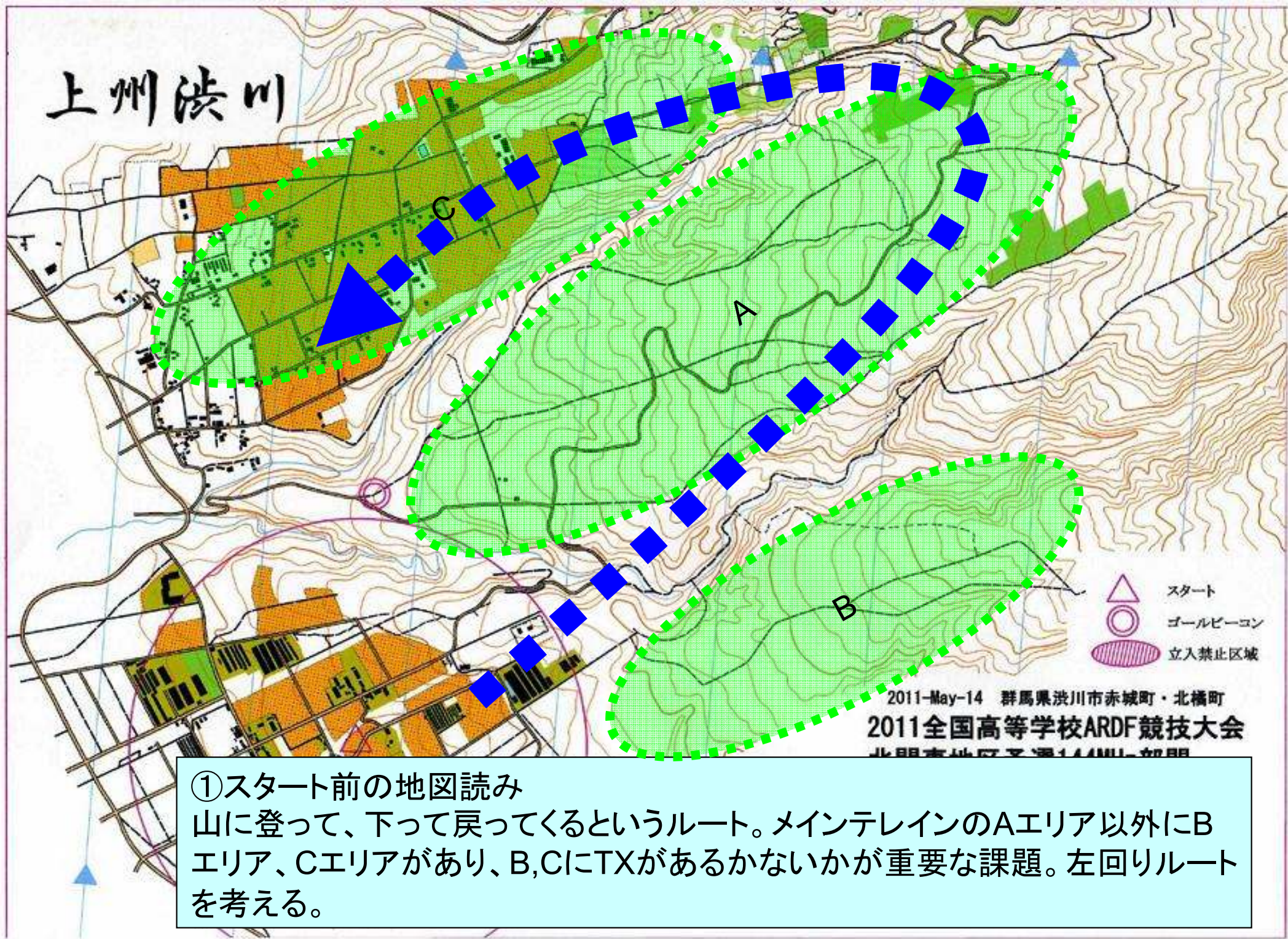
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

上州渋川



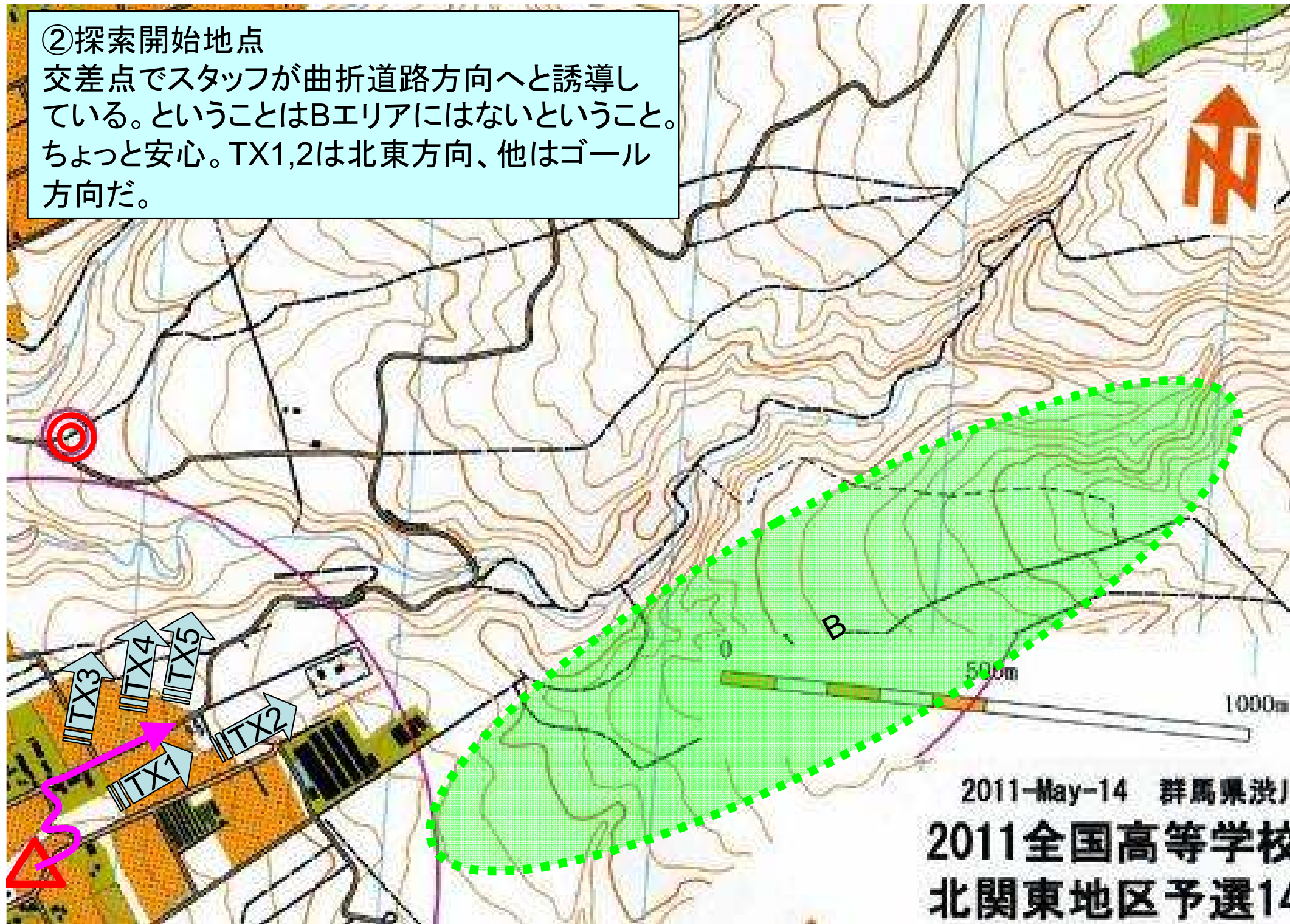


①スタート前の地図読み

山に登って、下って戻ってくるというルート。メイントレインのAエリア以外にBエリア、Cエリアがあり、B,CにTXがあるかないかが重要な課題。左回りルートを考える。

②探索開始地点

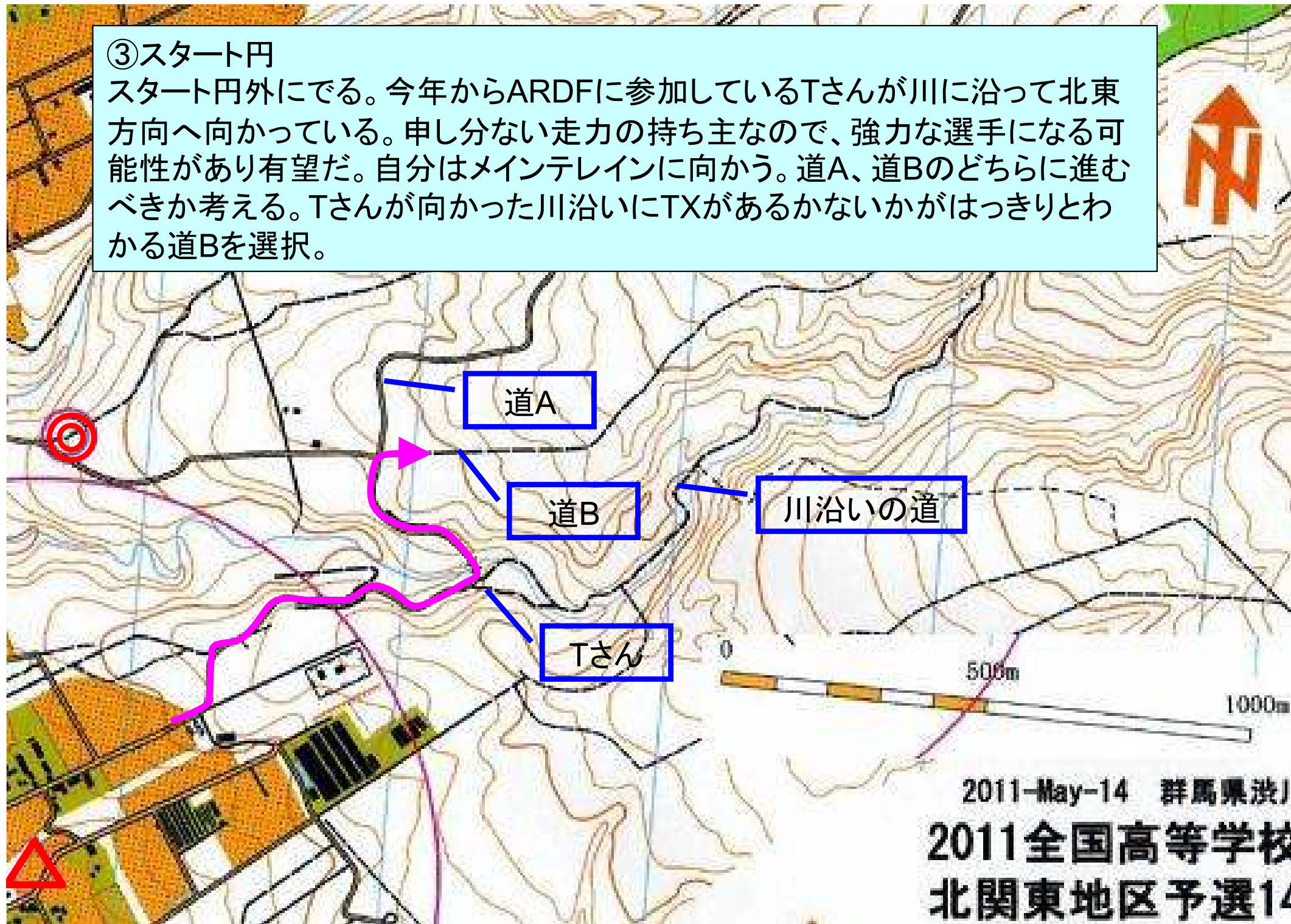
交差点でスタッフが曲折道路方向へと誘導している。ということはBエリアにはないということ。ちょっと安心。TX1,2は北東方向、他はゴール方向だ。



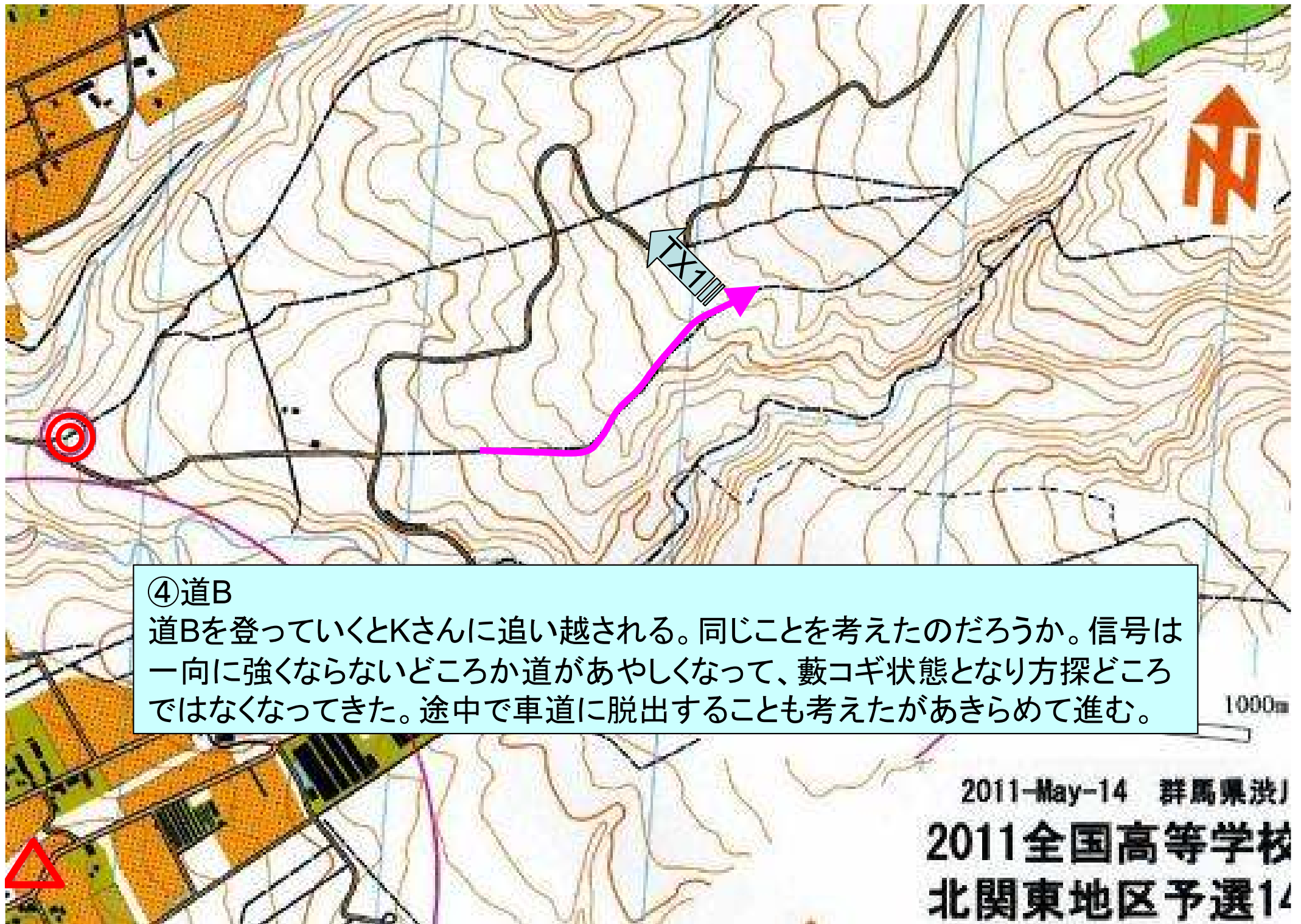
2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14

③スタート円

スタート円外にでる。今年からARDFに参加しているTさんが川に沿って北東方向へ向かっている。申し分ない走力の持ち主なので、強力な選手になる可能性があり有望だ。自分はメイントレインに向かう。道A、道Bのどちらに進むべきか考える。Tさんが向かった川沿いにTXがあるかないかがはっきりとわかる道Bを選択。

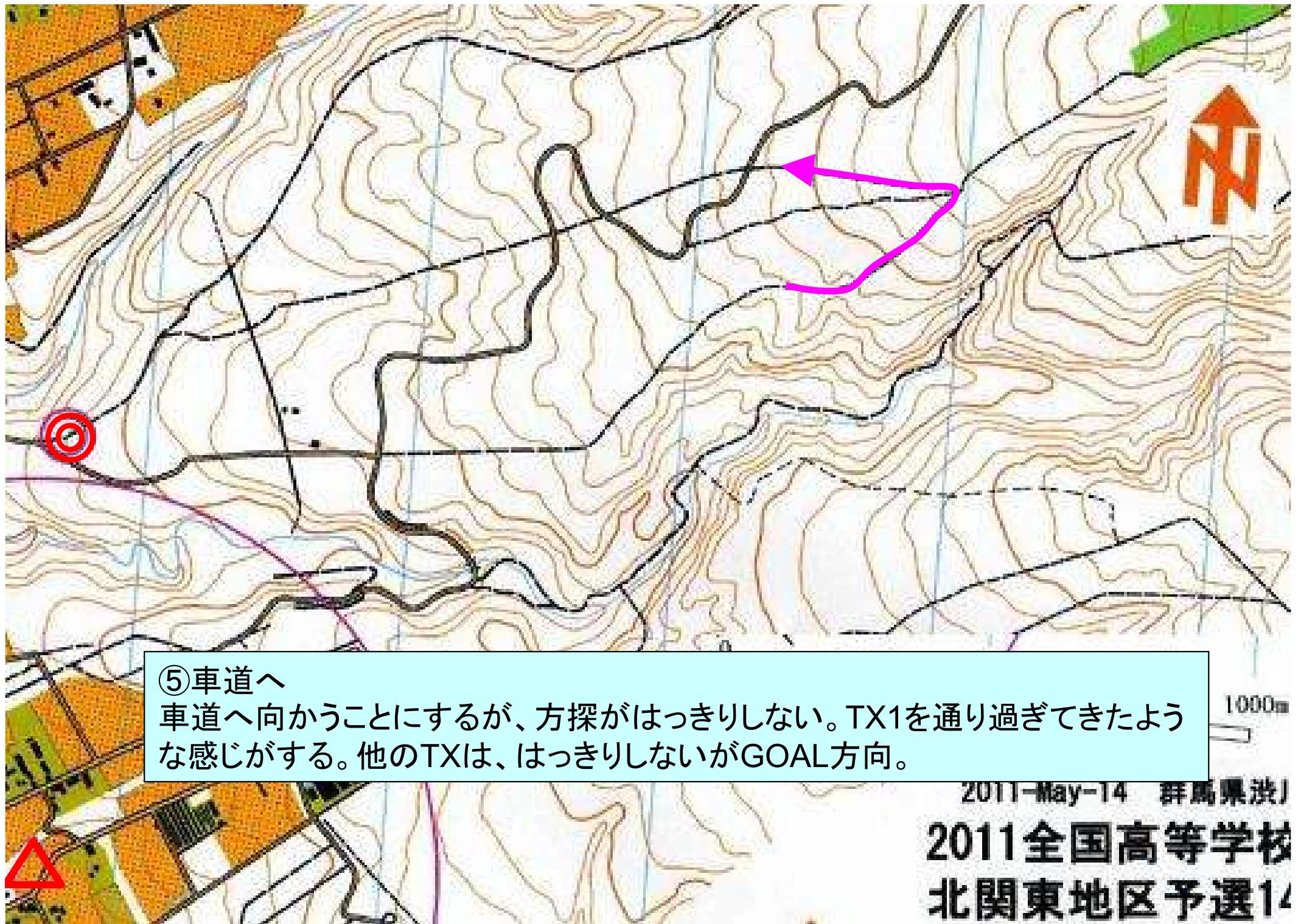


2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14



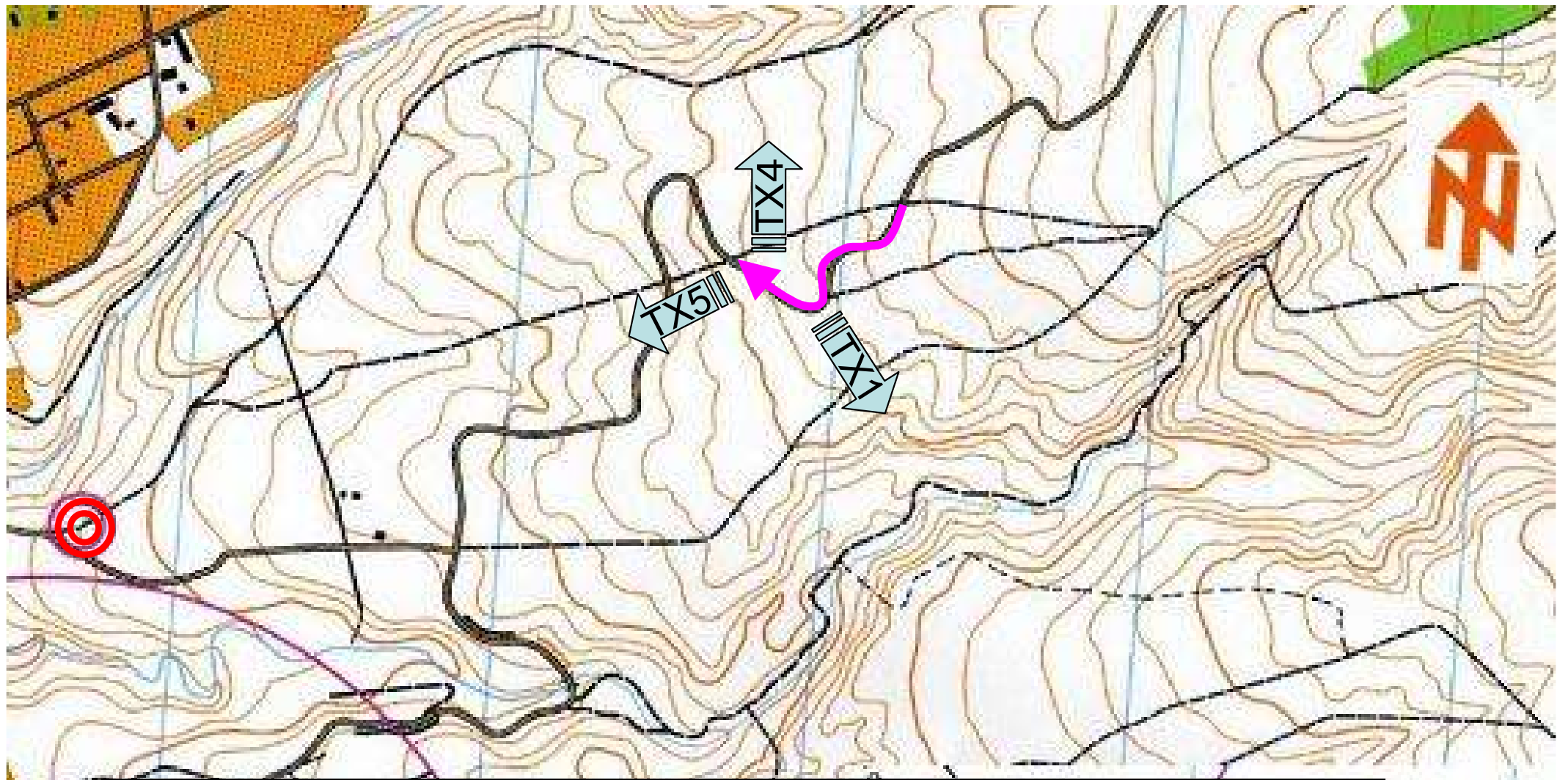
④道B
道Bを登っていくとKさんに追い越される。同じことを考えたのだろうか。信号は一向に強くないどころか道があやしくなって、藪コギ状態となり方探どころではなくなってきた。途中で車道に脱出することも考えたがあきらめて進む。

2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14



⑤車道へ
車道へ向かうことにするが、方探がはっきりしない。TX1を通り過ぎてきたよ
うな感じがする。他のTXは、はっきりしないがGOAL方向。

2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14



⑥車道を下る

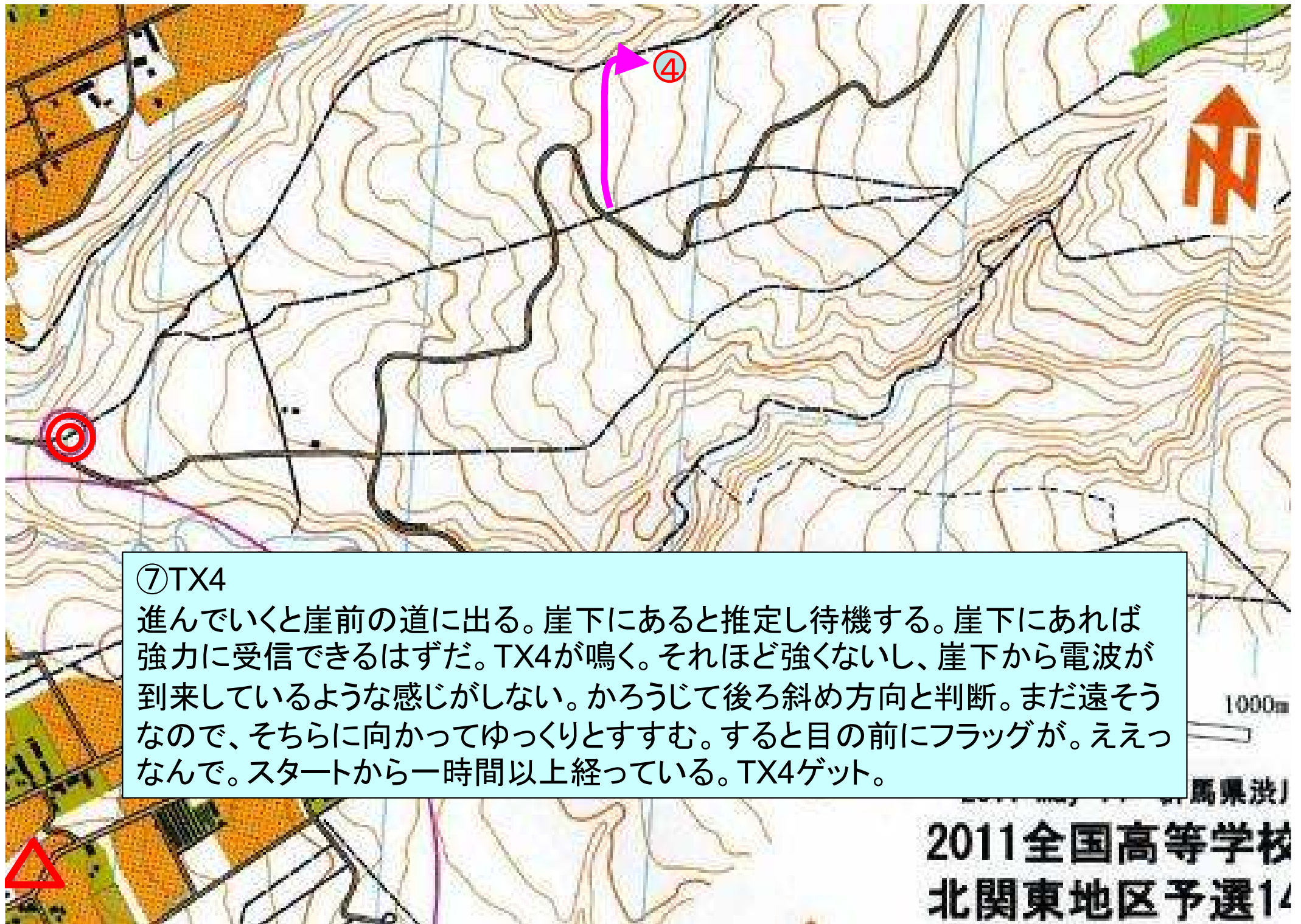
車道を下る途中でTX1が鳴く。先ほどの道B方向だ。しかし信号は強くない。不思議だ。さらに下ると、TX4は北方向。TX5は坂を下った南西方向。方向は出ないし信号が弱いので、谷設置と推定。坂を下りたくないのTX4を目指して林に入る。

1000m

群馬県渋川市

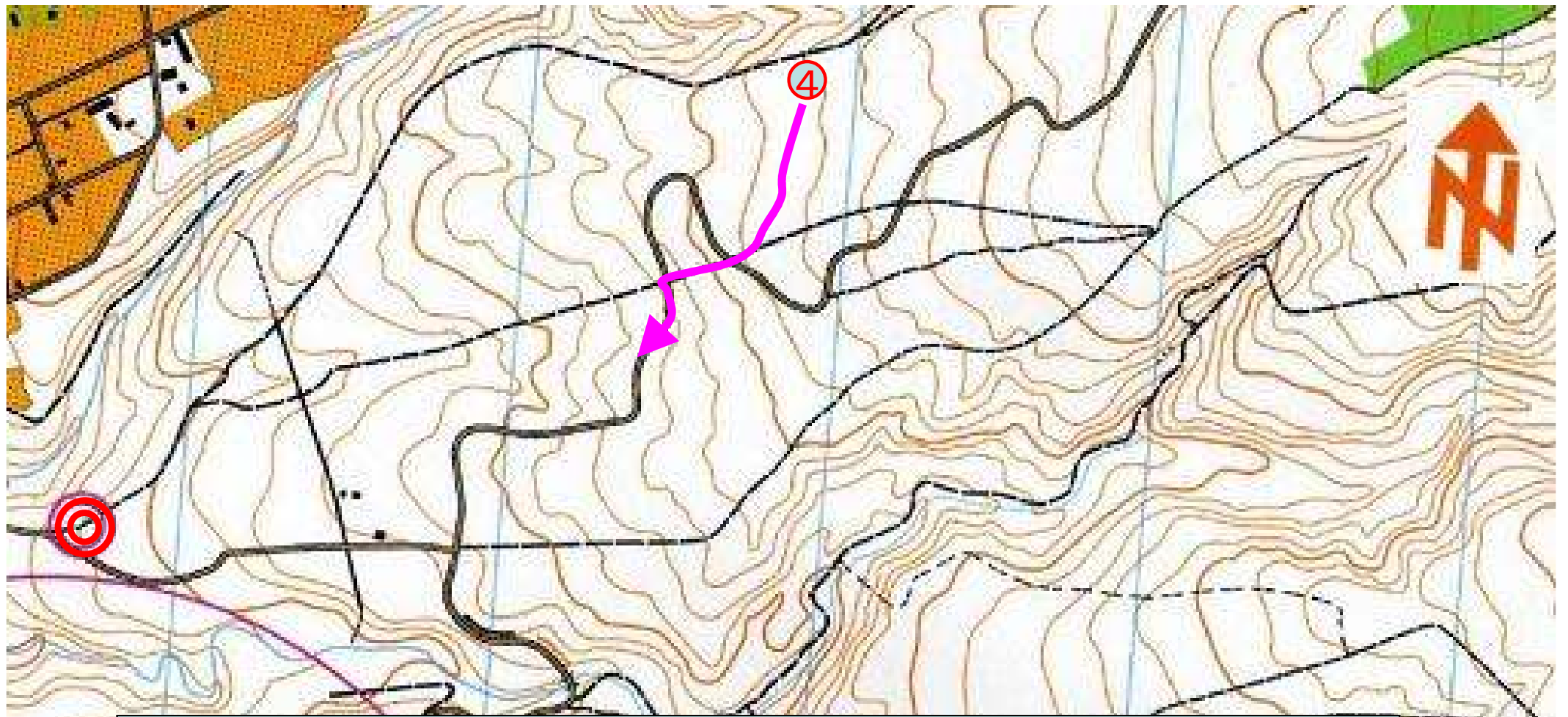
高等学校

北関東地区予選14



⑦TX4

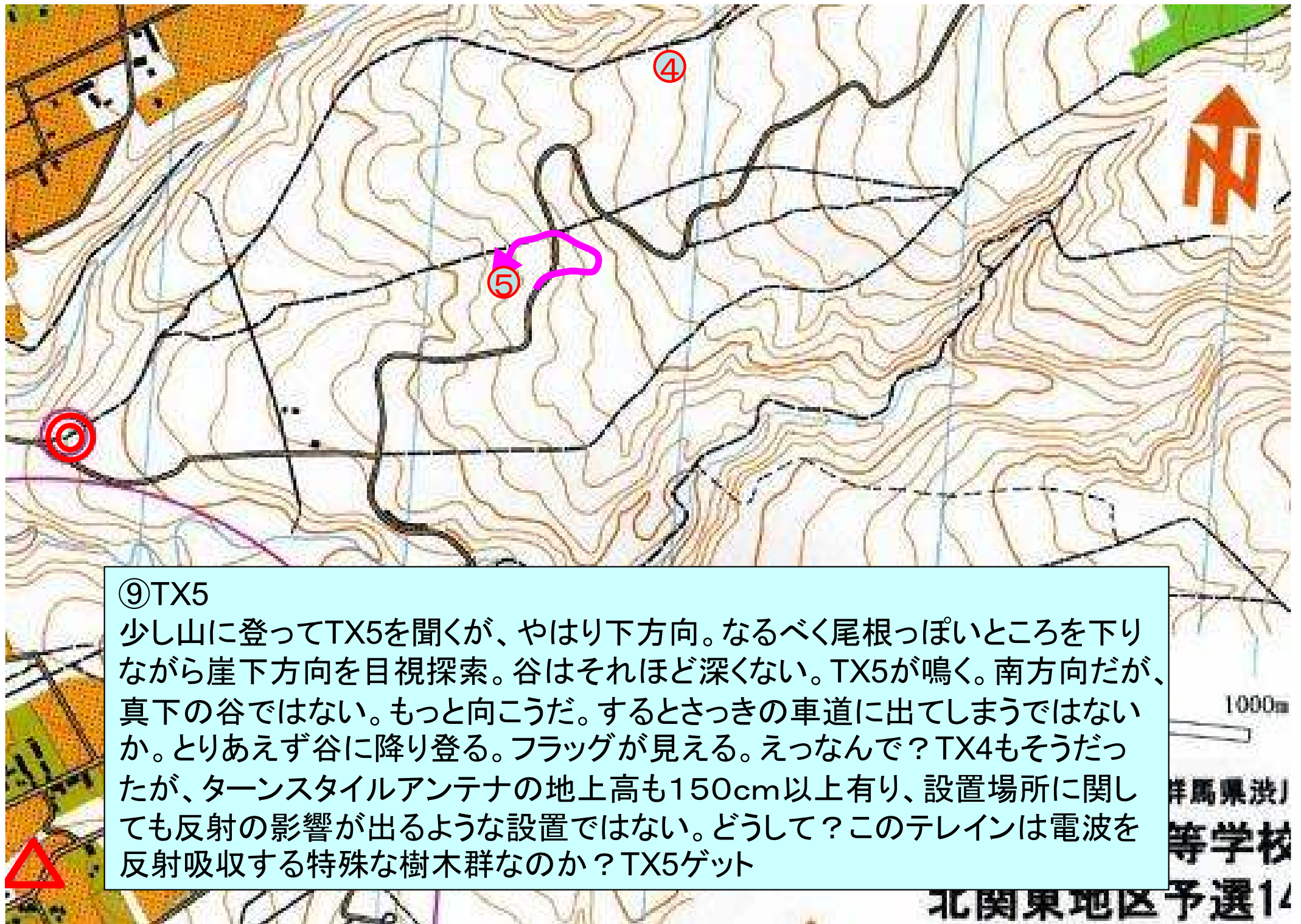
進んでいくと崖前の道に出る。崖下にあると推定し待機する。崖下であれば強力に受信できるはずだ。TX4が鳴く。それほど強くないし、崖下から電波が到来しているような感じがしない。かろうじて後ろ斜め方向と判断。まだ遠そうなので、そちらに向かってゆっくりとすすむ。すると目の前にフラッグが。ええっなんで。スタートから一時間以上経っている。TX4ゲット。



⑧右往左往

出力が弱いのか、受信機がおかしいのか不明だが、いつもとは様子が違う。次はTX5。車道に戻りTX5目指して降りていく。下の車道にショートパスしたところでTX5が鳴く。方向が出ない。さほど強くはないが、TX4の感じだと近距離のはず。車道を駆け下り、場所を変えながら方探すが状況は変わらない。これだけ方向が出ないということは直接波をキャッチできないよう場所にあるということだ。山の上の平坦な場所か？

1000m
群馬県渋川市
等学校



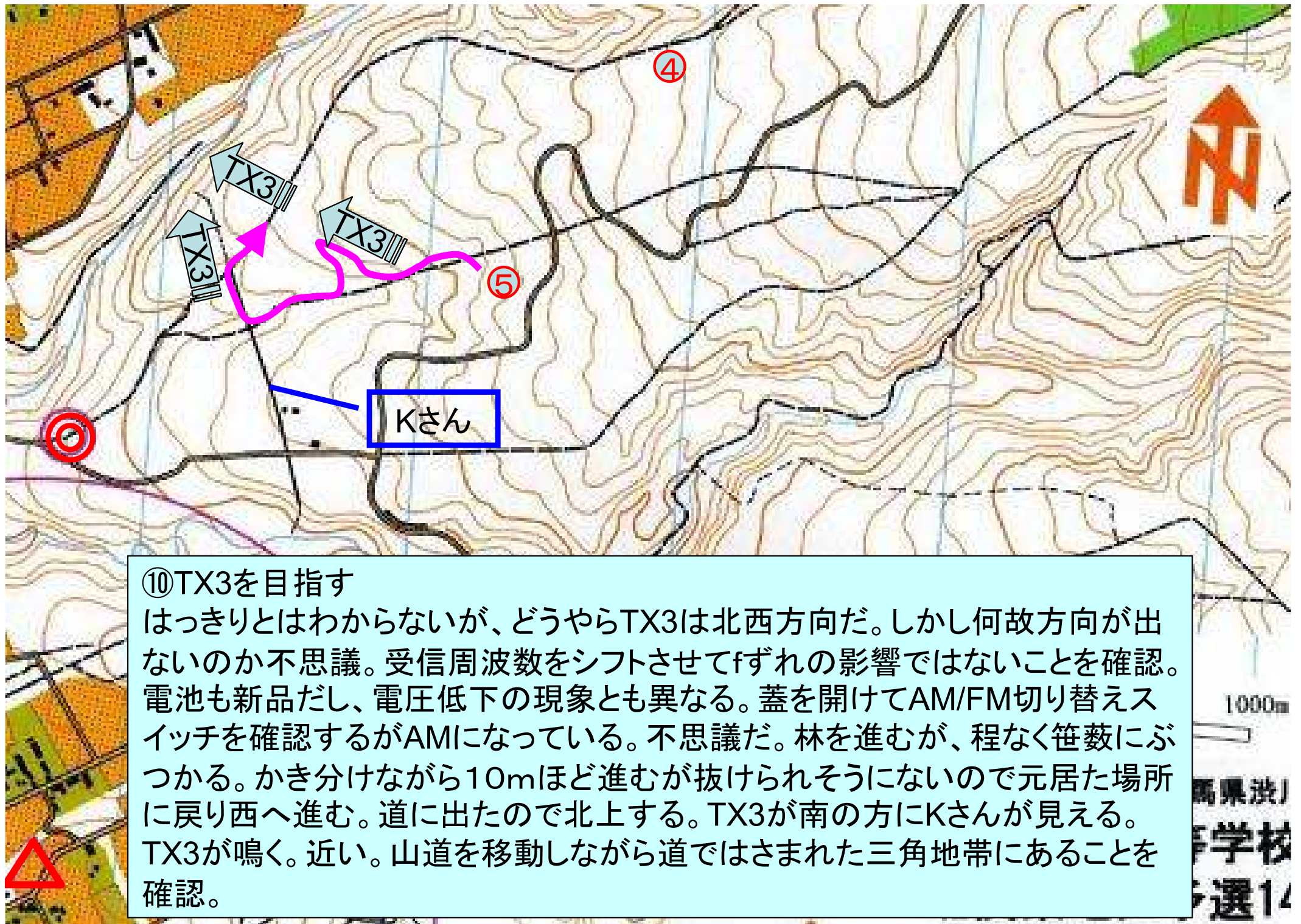
⑨TX5

少し山に登ってTX5を聞くが、やはり下方向。なるべく尾根っぽいところを下りながら崖下方向を目視探索。谷はそれほど深くない。TX5が鳴く。南方向だが、真下の谷ではない。もっと向こうだ。するとさっきの車道に出てしまうではないか。とりあえず谷に降り登る。フラッグが見える。えっなんで？TX4もそうだったが、ターンスタイルアンテナの地上高も150cm以上有り、設置場所に関しても反射の影響が出るような設置ではない。どうして？このトレインは電波を反射吸収する特殊な樹木群なのか？TX5ゲット

1000m

群馬県渋川市
高等学校

北関東地区予選14



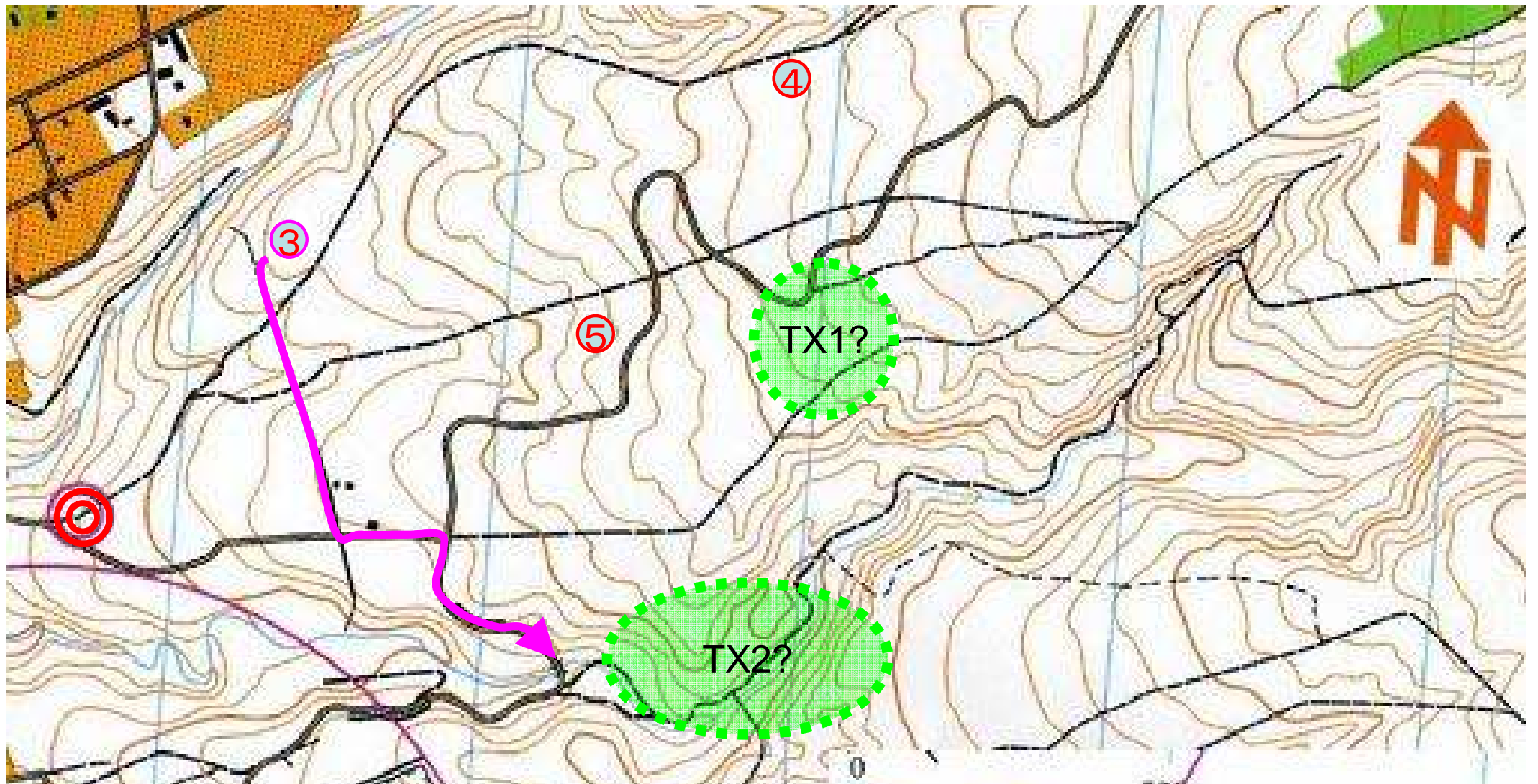
⑩TX3を目指す

はっきりとはわからないが、どうやらTX3は北西方向だ。しかし何故方向が出ないのか不思議。受信周波数をシフトさせてfずれの影響ではないことを確認。電池も新品だし、電圧低下の現象とも異なる。蓋を開けてAM/FM切り替えスイッチを確認するがAMになっている。不思議だ。林を進むが、程なく笹藪にぶつかる。かき分けながら10mほど進むが抜けられそうにないので元居た場所に戻り西へ進む。道に出たので北上する。TX3が南の方にKさんが見える。TX3が鳴く。近い。山道を移動しながら道ではさまれた三角地帯にあることを確認。



⑪TX3
停波したあと藪に入って目視探索する。なかなか見つからない。うろうろした
あげくやっとフラッグを発見。TX3ゲット。

2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14

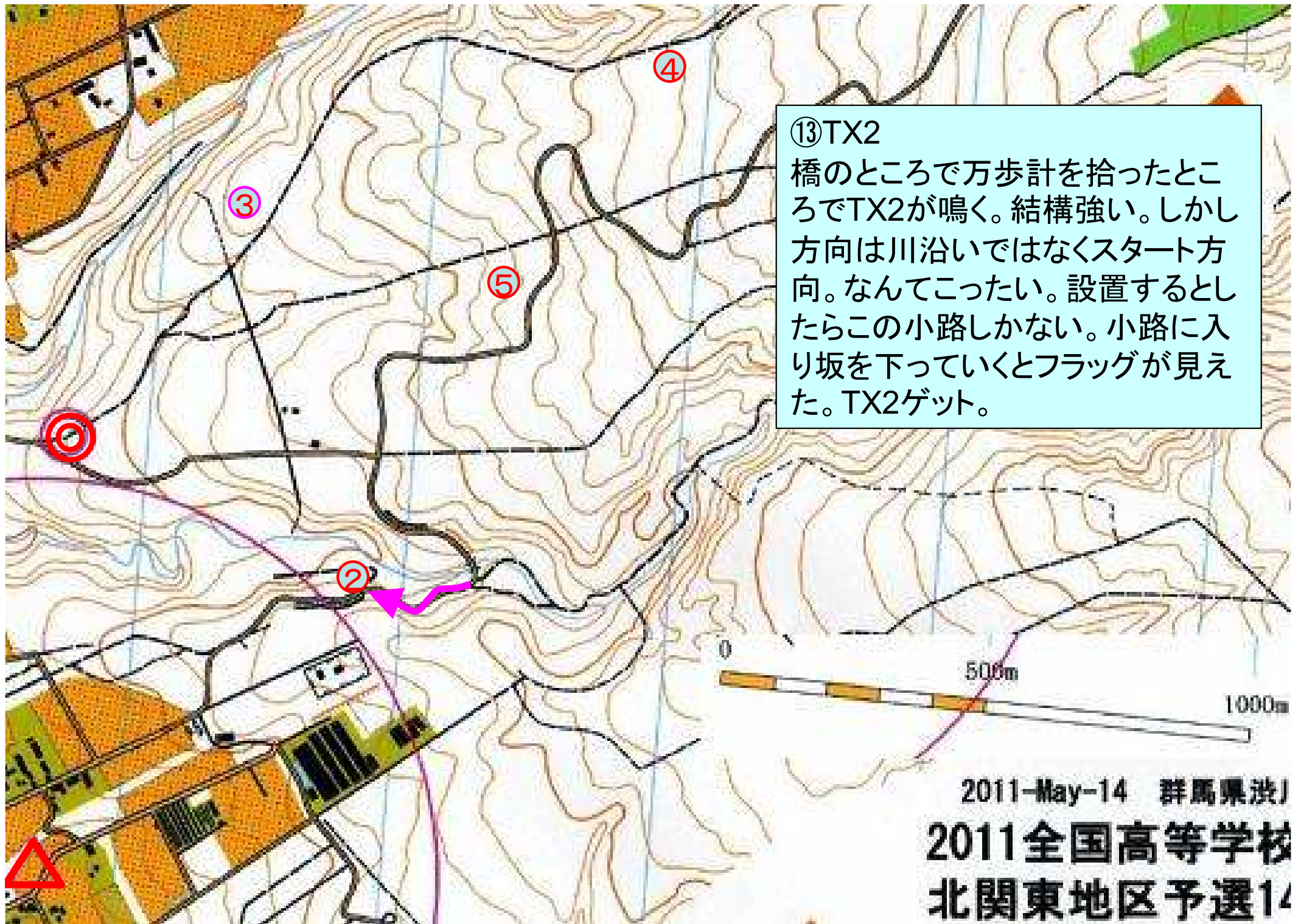


⑫次のターゲットは

残りはTX1と自分には不要なTX2。TX1の場所は皆目見当がつかないが、強いて言えば方探方向がクロスしていた地点が怪しそう。TX2はスタート円を出たあたりで一番強かったので、川沿いに上ったところと判断。Tさんが入っていったところだ。また山を登るのは避けたいし、場所がある程度推定されているTX2を目指すことにする。橋まで来た。

1000m

群馬県渋川市
高等学校
予選14



⑬TX2
橋のところで万歩計を拾ったところでTX2が鳴く。結構強い。しかし方向は川沿いではなくスタート方向。なんてこったい。設置するとしたらこの小路しかない。小路に入り坂を下っていくとフラッグが見えた。TX2ゲット。

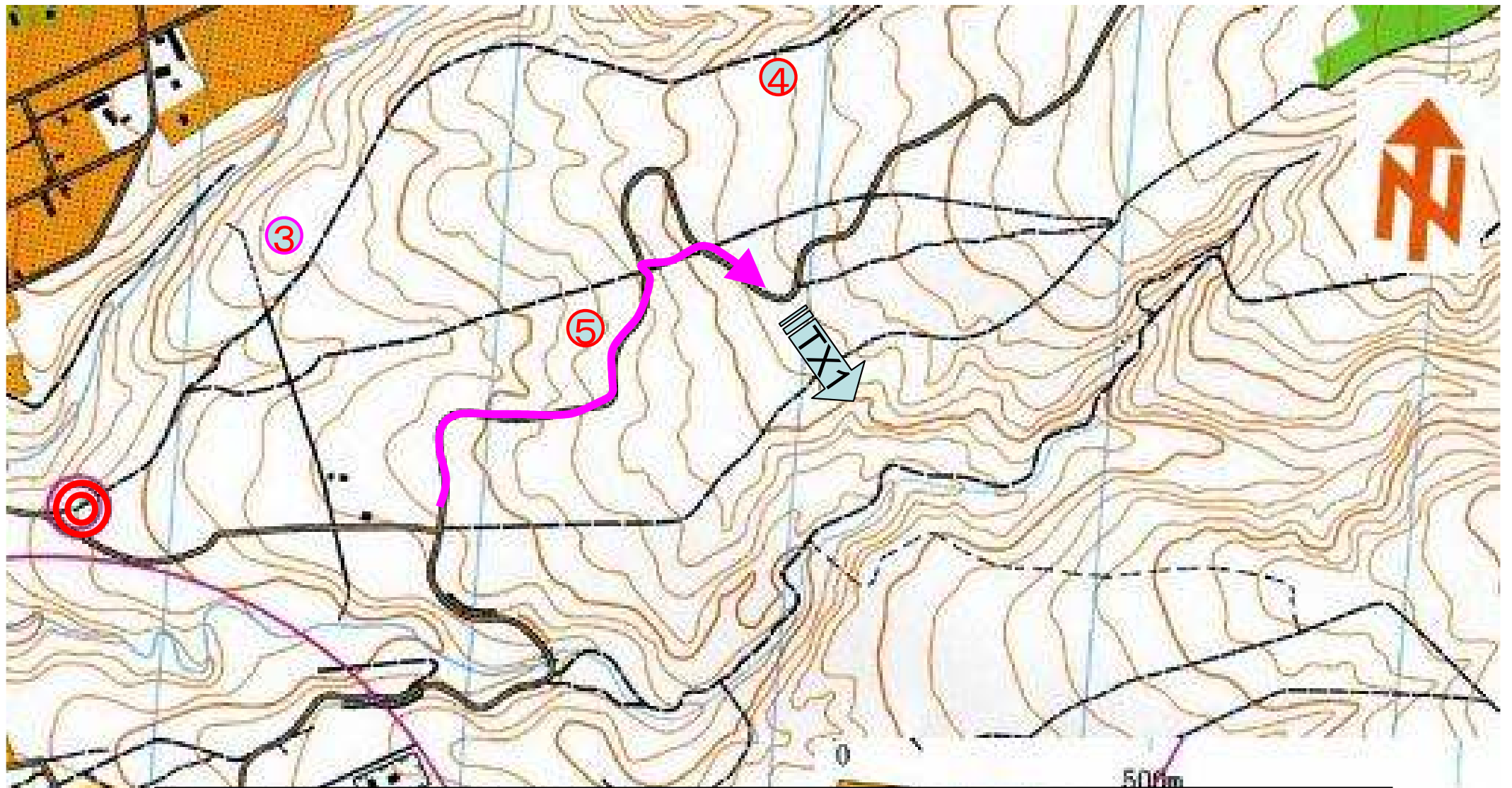
2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14



⑭ スタッフのOさん

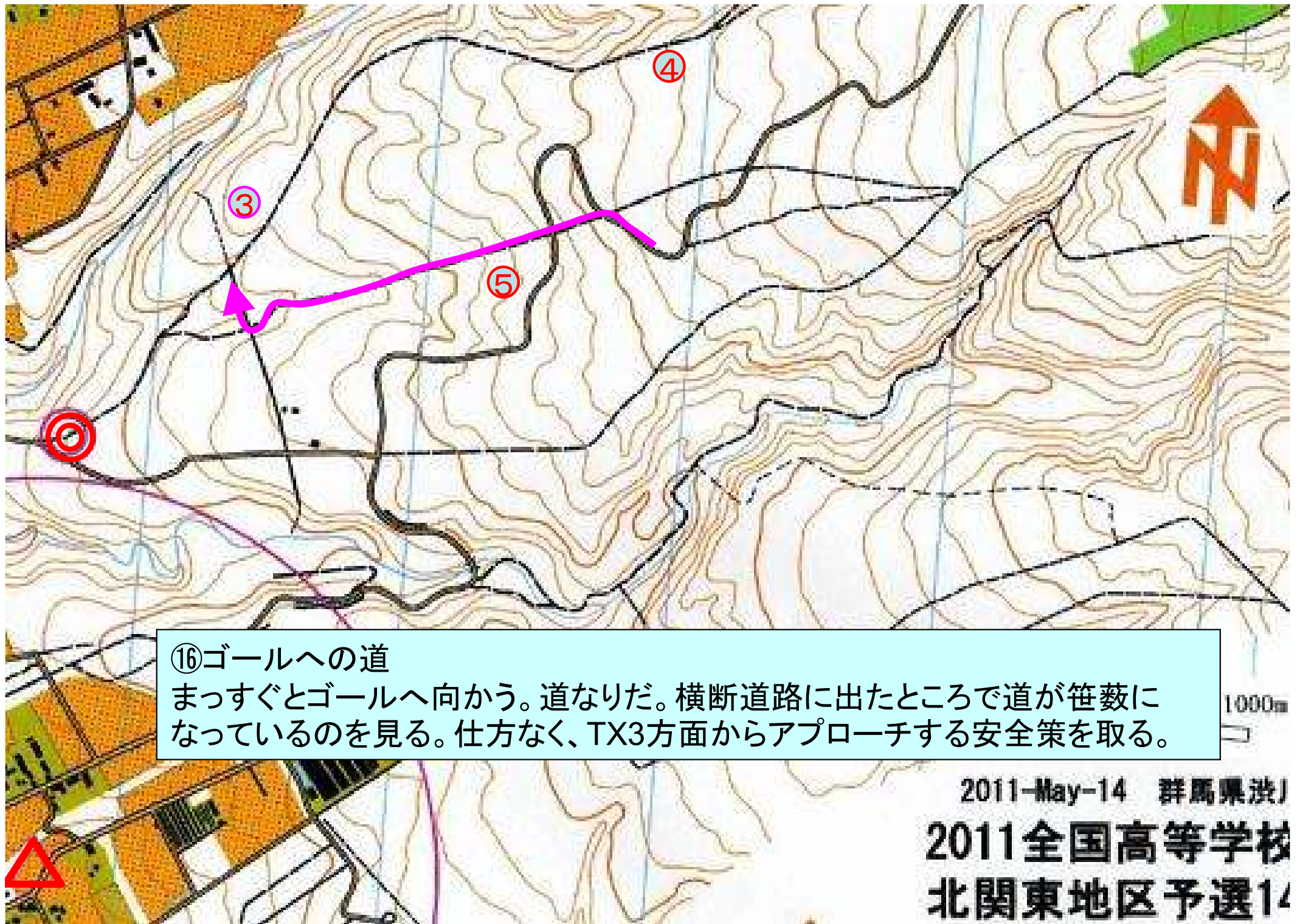
TX1推定地点を目指し車道を登る。巡回中のスタッフOさんと出会う。まだ制限時間になっていないが、TX1に行ったら確実にタイムオーバーする。未ゲットで制限時間内に戻ると主催者のSさんから怒られそうだし、2番スタートでもあり、タイムオーバーすることにする。念のため、「これから取りこぼしを取りに行きます。」とOさんに伝える。「TX5?」「いや、TX1」Oさんは意外な顔をした。間違った方向かもしれない。しかし、自分としては推定地点へ行って確かめてみたい。

「このトレイン方向きちんと出ますか?」と聞くと、「細かな起伏があるから結構反射があるね」とOさん。やっぱり特殊なトレインなのだろうか。



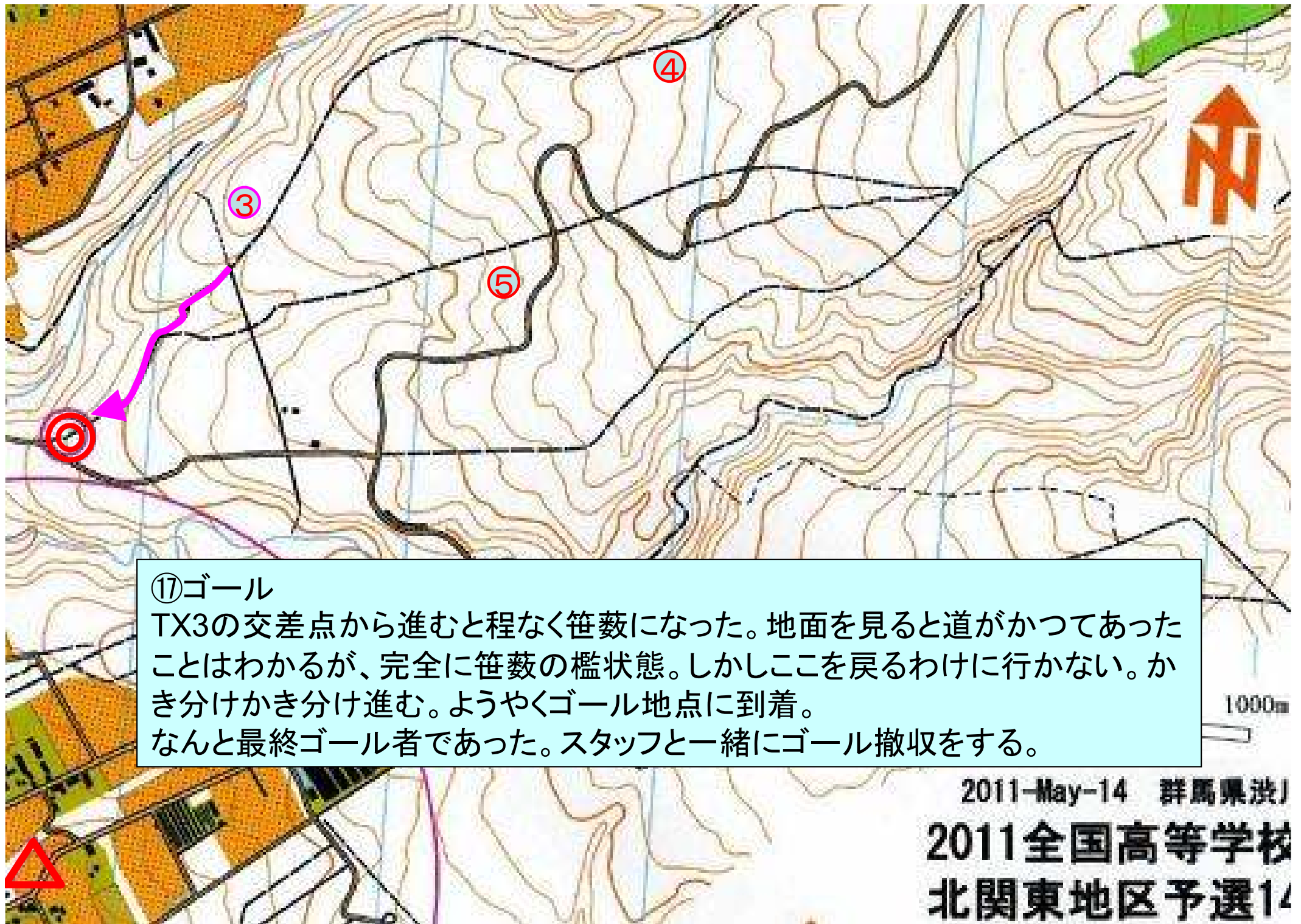
⑮TX1推定地点

推定地点に到達しTX1を待つ。前と同じ南東方向のようだ。しかし信号レベルはかなり弱い。林に入ってゲットできるような距離ではない。あきらめてゴールを目指すことにする。



⑬ゴールへの道
まっすぐとゴールへ向かう。道なりだ。横断道路に出たところで道が笹藪になっているのを見る。仕方なく、TX3方面からアプローチする安全策を取る。

2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14



⑰ゴール
TX3の交差点から進むと程なく笹藪になった。地面を見ると道がかつてあったことはわかるが、完全に笹藪の檻状態。しかしここを戻るわけに行かない。かき分けかき分け進む。ようやくゴール地点に到着。
なんと最終ゴール者であった。スタッフと一緒にゴール撤収をする。

2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14

おわり



2011-May-14 群馬県渋川
2011全国高等学校
北関東地区予選14

反省

◇今回はほとんど無指向性探索であった。移動して信号強度が強くなれば近づいた、そうでなければ遠ざかったと判断して進むしかなかった。ゴール後、何人かに聞くと、反射状況は通常通りとのことだった。となると問題は受信機か？次大会までにアンテナ系をチェックしよう。

◇最初のTXをゲットする前に車道から山道に入った。前述したように川沿いにTXがあるか否かを確認する目的であったが、それもできず、結局この道を選んだのは失敗。よくよく考えると設置の可能性が薄いルートであった。

◇今回最終ゴール者(タイム約3時間)になってしまった。主催者のSさんからは、「安島さん、何やってんのよう。」と言われてしまった。主催者に迷惑をかけてしまった。反省。